

〔参考〕平成20年度 武蔵野美術大学造形学部3年次編入学試験問題一覧

◇日本画学科

○実技試験〔鉛筆デッサン〕（3時間）

【問題】

人体を鉛筆デッサンしなさい。

〔条件〕

画用紙は縦横自由。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. A2画用紙×1枚
3. B4上質紙（下書き用）×1枚

◇油絵学科 油絵専攻・版画専攻

○実技試験〔デッサン〕（6時間）

【問題】

三つのモチーフを自由に組み合わせ、描きなさい。

〔条件〕

1. ガムテープ、剥製、白い布の三つのモチーフは必ず使用すること。
2. 描画材料は木炭、鉛筆。（併用可）
3. 用紙は縦横自由。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. 木炭紙又は画用紙（選択）×1枚
3. B4上質紙（下書き用）×2枚

◇彫刻学科

○実技試験〔鉛筆デッサン〕（3時間）

【問題】

モデル台の上にあるモチーフを、頭の中で自由に組み立て、立体を創造し、それを描きなさい。

〔条件〕

1. 必ずしもモデル台の上にあるモチーフ全てを描写しなくてもよい。
2. 画用紙は縦横自由。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. 木炭紙大画用紙×1枚

◇視覚伝達デザイン学科

○実技試験 [デザイン] (6時間)

【問題】

配付された水を4種類の素材(配付物6. 7. 8. 9.)の上にスポイト等で垂らして自由に動かし、水の性質に着目しながら水の様子や動きの違いをよく観察し、課題1.課題2.を制作しなさい。

課題1. 水の様子や動きについて、発見および推測した現象を3つに絞り込み、3つの現象についてそれぞれタイトルと説明文とスケッチとで説明しなさい。

- 条件1) タイトルは、それぞれ20字以内でわかりやすく表示すること。
2) それぞれの説明文の文章量は自由とする。
3) 水の様子や動きを観察するために、素材に手を加えてもよい。
4) タイトル、説明文、スケッチは、鉛筆のみ(色鉛筆は不可)による表現とする。
5) B3ケント紙はヨコ位置使用。
6) 水、4種類の素材(配付物6. 7. 8. 9.)、および色鉛筆のパッケージはモチーフではない。

課題2. 発見および推測した現象をテーマにして色彩構成しなさい。

- 条件1) 配付された色紙(トータルカラー)と色鉛筆、指定された携行用具のみを使用すること。
2) B3ケント紙はタテ・ヨコ自由に使用してよいが、目隠しカード上に必ず天地を示す矢印を書くこと。

[配付物]

1. 試験問題
2. B3ケント紙×2枚
3. B4上質紙(下書き用)×4枚
4. 水
5. スポイト×1本
6. 上質紙(20cm×20cm)×3枚
7. アルミ板(20cm×20cm)×1枚

8. フェルト(20cm×20cm)×1枚
9. ゴム板(20cm×20cm)×1枚
10. 色鉛筆3色セット×1セット
11. 色紙セット(トータルカラー)×1セット

◇空間演出デザイン学科

○実技試験 [デザイン] (3時間)

【問題】

配付されたケント紙を自由に使用して、公園のためのやすらぎの装置「東屋」を造形しなさい。

注:「東屋」あづまや、公園によくある屋根付の休息所

[条件]

1. 造形物の彩色は自由。
2. 造形物は、与えられた台紙(B3スチレンボード)の上に固定すること。
3. 台紙は横位置で使用し、作品のタイトルを台紙右下に明記すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. B3ケント紙×3枚
3. B3スチレンボード(5mm厚、台紙用)×1枚
4. B4上質紙(下書き用)×1枚

◇建築学科

○実技試験 [デザインテスト] (3時間)

【問題】

空間の分節をテーマに住宅をデザインしなさい。

〔条件〕

1. 敷地環境、規模、家族構成などは各自が設定すること。
2. 各自が構想したコンセプトを示すようなタイトルを付けること。
3. デザイン意図を説明するために必要と思われる図面 (スケールは自由)、説明文、スケッチ等を選択し、表現すること。
4. 答案用紙は縦横自由。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. A 2ケント紙 (提出用) × 1枚
3. B 4上質紙 (下書き用) × 3枚

◇基礎デザイン学科

○小論文 (90分)

【問題】

あなたが基礎デザイン学科を志望している動機と将来への抱負の関連性について述べなさい。(600字以内)

〔配付物〕

1. 試験問題
2. 原稿用紙 × 1枚

◇映像学科

○小論文 (60分)

【問題】

今まで学んだ分野の具体的な内容に関係付けて、映像の分野あるいは本学科になぜ進むのかを述べなさい。(800字以内)

〔配付物〕

1. 試験問題
2. 原稿用紙 × 1枚

◇芸術文化学科

○小論文 (2時間)

【問題】

以下の文章のなかから、いずれかひとつを選び、それを骨子にしながら、自分の考えを、「具体的に」まとめなさい。(1200字以内)

(その反対意見の表明でもよい。)

- A. 美の本質は、驚きと共感である。
- B. 新しい空間の発見は、身体への注目から始まる。
- C. 現代社会の危機は、文化の隆盛によって、回避できる。
- D. アートの役割は、日常と非日常をつなぐことである。
- E. 共同的工作、コラボレーションが、文化・芸術の場で求められている。
- F. デザインとは、生活と社会のあり方を、考え直す行為である。
- G. 地域の勃興や場の力が、アートやデザインを、互いに力づける。
- H. オタク文化や、サブ・カルチャーこそが、文化の興隆をになう時代だ。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. 原稿用紙 × 1セット

◇デザイン情報学科

○小論文 (90分)

【問 題】

電話の数字キーの配列は上段が「1,2,3」、中段は「4,5,6」、下段は「7,8,9」であるのに対して、電卓のそれは上段が「7,8,9」、中段は「4,5,6」、下段は「1,2,3」と逆になっています。これはそれぞれ、国際電気通信連合の電気通信標準化部門 (ITU-T) と国際標準化機構 (ISO) で定められた国際規格に拠っているためです。

インターフェイスデザインの立場から考えて、この配列を統一すべきか、それとも現状のままで良いか、統一する場合は電話式が良いか、電卓式が良いか、この問題についてあなたの考えを根拠を挙げて論述しなさい。(1200字以内)

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット